

『三年越しの定演』成田SE青空副団長 原浩美

5月13日（金）成田国際文化会館大ホールにおいて、私たち『青空』の三年越しに待ちに待った『第5回定期演奏会』が開催されました。2年半に渡る練習会場確保の苦労、色々な感染防止対策、そして今回はお客様へ事前のご来場登録：団員一丸となつて準備し開催に至りました。指揮のN先生には長く練習のお時間をかけていただき、熱心なご指導と励ましのおかげと感謝しています。

演奏会は温かく和やかな雰囲気で始まりました。まずはご挨拶に『闘牛士の歌』の演奏。続けてチャイコフスキーの『くるみ割り人形』8曲全て演奏。3年間温めてきた大曲、集大成と思うと胸が熱くなり、団員も大感激でした

第二部は『ビートルズメドレー』などお客様にも馴染みの曲で盛り上がりました。そして、私たちの定番曲『碧空』をアンコールに演奏し、本日一番の拍手と共に、無事、大成功にて終了となりました。ここまでご支援くださった方々、ご来場のお客様、当日のお手伝いの皆様、全ての方に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

音楽を通して皆様とご一緒にすることの素晴らしさ、そして演奏できることがこんなにも幸せなことなのだと改めて思う一日でした



第1回定期演奏会「オープニングコンサート」

5月14日（土）、千葉県の外房の入口、茂原市の東部台文化会館におきまして第1回定期演奏会

「オープニングコンサート」を開催致しました。横林歩先生の指導・指揮で、演奏メンバーは25名、バイオリン、マンドリン、ギター、ベースの弦楽器、フルート、クラリネット、サックス、トランペットの管楽器、ピアノ、キーボードの鍵盤楽器、ドラム、パーカッションの打楽器と充実です。

演奏会は2部構成。選曲は唱歌、歌謡曲、映画音楽、民族音楽そしてクラシックと多彩です。進行も早春の日本を出発して、南米から北米、ヨーロッパと世界一周、次いで私たちのテーマ曲「昂」で再出発。ヨーロッパ、アメリカ、南米、そしてアフリカにも想い馳せながら最後は銀河の彼方イスカンダルまで旅をする



壮大なものでした。演奏技術は個人差があるものの、同じ行き先に向かつて奏でる何物にも変え難い疲れを体感致しました。

初心者でも経験者でも楽しいでですよ！次の旅を一緒に如何ですか？お好きな楽器持参での「昂号」同乗をお待ちしています。（F・永野記）

2018年の第4回定期演奏会以来、4年ぶりに第5回定期演奏会を市川市文化会館で開催することができます。

第5回はコロナ感染対策を含め、新しい試みをしましたのでそれについてご紹介したいと思います。コロナ感染防止対策としての入場制限がありました。会場の利用にあたっては定員の1/2とされています。入場は事前予約制としました。事前予約の対象者は過去の定期演奏会に来場され住所など連絡先が記録されている方々と団員のお知り合いなどの関係者に絞り、来場希望有無の確認は、往復はがき、入場予約券等を利用しました。はがき、予約券に通信欄を設けたところ、多くの方々から激励と開催への感謝が書き添えられ、我々は心を動かされ、一段と練習にも熱が入りました。次に演奏曲の分かりやすい説明、場面面での臨機応変な舞台進行／演出を狙いました。また団員とお客様との距離感を縮め一体となつた演奏会にするため、司会者に変え野村先生にMCをお願いしました。アンケートによれば、好意的な感想が多く見られ、一体となつた音乐会になつたと思います。

4年には第6回定期演奏会を予定しております。それに向けて今回定期演奏会を糧に、より楽しい演奏会づくりを目指していくたいと考えております。

（市川SE 鎌田）

